



## L コマンド

---

この章では、L で始まる Cisco NX-OS マルチプロトコル ラベル スイッチング コマンドについて説明します。

# label allocate global

マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) のローカル ラベル割り当てフィルタを設定するには、**label allocate global** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**label allocate global** {all-routes | host-routers | prefix-list *prefix-list*}

**no label allocate global** {all-routes | host-routers | prefix-list *prefix-list*}

構文の説明	パラメータ	説明
	<b>all-routes</b>	すべてのルートに割り当てローカル ラベルを指定します。
	<b>host-routes</b>	ホスト ルートだけに割り当てローカル ラベルを指定します。
	<b>prefix-list</b>	ローカル ラベル フィルタリング用のプレフィックス リストを指定します。
	<i>prefix-list</i>	IP プレフィックス リスト。

デフォルト なし

コマンド モード LDP コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール network-admin  
vdc-admin

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例 この例では、MPLS LDP にローカル ラベル割り当てフィルタを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# mpls ldp configuration
switch(config-ldp)# label allocate global prefix-list pl
switch(config-ldp)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>mpls ldp configuration</b>	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

# link-management timers

リンク管理ホールド タイマーを設定するには、**link-management timers** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
link-management timers {bandwidth-hold sec | periodic-flooding sec}
```

```
no link-management timers
```

構文の説明	bandwidth-hold	periodic-flooding
	応答 RSVP Resv メッセージが戻るのを待つ間、RSVP パス（確立）メッセージの帯域幅を維持する時間の長さを指定します。	即時処理をトリガーしないリンク ステート情報の変更を指定します。たとえば、しきい値にかからない割り当て帯域幅の量の変更です。
	<i>sec</i>	<i>sec</i>
		秒。指定できる範囲は 1 ～ 300 秒です。
		秒。指定できる範囲は 0 ～ 3600 秒です。値 0 を指定すると、定期的フラッシングがオフになります。この値を 1 ～ 29 に設定した場合、30 として扱われます。

デフォルト
帯域幅保持は 15 秒です 定期的フラッシングは 60 秒です

コマンド モード
TE コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール
network-admin vdc-admin

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン
このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例
次に、リンク管理帯域幅ホールド タイマーを設定する例を示します。
<pre>switch# configure terminal switch(config)# mpls traffic-eng configuration switch(config-te)# link management timers bandwidth-hold 200 switch(config-te)#</pre>

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>mpls traffic-eng configuration</b>	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) トラフィック エンジン アリリング プロトコル (MPLS-TE) を設定します。

# list (LSP 属性コンフィギュレーション モード)

ラベル スイッチド パス (LSP) 属性リストの内容を表示するには、**list** コマンドを使用します。

**list**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンド モード

LSP 属性コンフィギュレーション モード

## サポートされるユーザロール

network-admin  
vdc-admin

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、LSP 属性リストの内容を表示する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# mpls traffic-eng configuration
switch(config-te)# lsp attributes 1
switch(config-lsp-attr)# list
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>mpls traffic-eng configuration</b>	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) トラフィック エンジニアリング プロトコル (MPLS-TE) を設定します。

# list (TE 明示パス コンフィギュレーション モード)

explicit-path エントリの内容を表示するには、**list** コマンドを使用します。

**list**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンドモード

TE 明示パス コンフィギュレーション モード

## サポートされるユーザロール

network-admin  
vdc-admin

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、LSP 属性リストの内容を表示する例を示します。

```
switch# configure terminal  
switch(config)# mpls traffic-eng configuration  
switch(config-te)# explicit-path name test  
switch(config-lsp-attr)# list
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>mpls traffic-eng configuration</b>	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) トラフィック エンジニアリング プロトコル (MPLS-TE) を設定します。

# load-interval

インターフェイスの入出力レートが平均化される間隔を設定するには、**load-interval** コマンドを使用します。システムをデフォルトの状態に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**load-interval** *seconds*

**no load-interval**

構文の説明	<i>seconds</i>	負荷統計情報の計算に使用されるデータを取る時間の長さ。値は 30 の倍数で、120 ~ 300 (120、150、180 など) です。
デフォルト	300	
コマンドモード	インターフェイス コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	<b>tunnel-te interface</b> について、 <b>bandwidth</b> コマンドは初期トンネル帯域幅を設定し、帯域幅はその後自動帯域幅メカニズムによりインターフェイス トラフィック統計情報に基づいて調整されます。 <b>load-interval</b> コマンドは、インターフェイス トラフィック統計情報の計算頻度を指定します。	
例	次に、インターフェイスの入出力レートを平均化する間隔を設定する例を示します。 <pre>switch# configure terminal switch(config)# interface tunnel-te 1 switch(config-if-te)# load-interval 180 switch(config-if-te)#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	<b>interface tunnel-te</b>	トラフィック エンジニアリング (TE) インターフェイスを設定します。

# lockdown

ラベル スイッチド パス (LSP) の再最適化をディセーブルにするには、**lockdown** コマンドを使用します。システムをデフォルトの状態に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**lockdown**

**no lockdown**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンド モード

LSP 属性コンフィギュレーション モード

## サポートされるユーザーロール

network-admin  
vdc-admin

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、LSP の再最適化をディセーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal  
switch(config)# mpls traffic-eng configuration  
switch(config-te)# lsp attributes 1  
switch(config-lsp-attr)# lockdown
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>mpls traffic-eng configuration</b>	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) トラフィック エンジニアリング プロトコル (MPLS-TE) を設定します。

# logging lsp

ラベル スイッチド パス (LSP) のトラップにログインするには、**logging lsp** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**logging lsp** {**path-errors** | **preemption** | **reservation-errors** | **setups** | **teardowns**} [*prefix-list*]

**no logging lsp** {**path-errors** | **preemption** | **reservation-errors** | **setups** | **teardowns**}

## 構文の説明

<b>path-errors</b>	LSP パス エラー トラップのロギングを指定します。
<b>preemption</b>	LSP プリエンプション トラップのロギングを指定します。
<b>reservation-errors</b>	LSP 予約エラー トラップのロギングを指定します。
<b>setups</b>	LSP エスタブリッシュメント トラップのロギングを指定します。
<b>teardowns</b>	LSP ティアダウン トラップのロギングを指定します。
<i>prefix-list</i>	(任意) プレフィックス リスト。

## コマンド モード

TE コンフィギュレーション モード

## サポートされるユーザ ロール

network-admin  
vdc-admin

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、LSP パス エラー トラップを記録する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# mpls traffic-eng configuration
switch(config-te)# logging lsp path-errors prefix-list1
switch(config-te)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>mpls traffic-eng configuration</b>	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) トラフィック エンジニアリング プロトコル (MPLS-TE) を設定します。

# logging neighbor-changes

ラベル配布プロトコル (LDP) ネイバー ステート変更を記録するには、**logging neighbor-changes** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**logging neighbor-changes**

**no logging neighbor-changes**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

LDP コンフィギュレーション モード

## サポートされるユーザ ロール

network-admin  
vdc-admin

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、ラベル配布プロトコル (LDP) ネイバー ステート変更を記録する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# mpls ldp configuration
switch(config-ldp)# logging neighbor-changes
switch(config-ldp)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>mpls ldp configuration</b>	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

# logging password configuration

パスワード コンフィギュレーション変更に関するイベントの表示をイネーブルにするには、**logging password configuration** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**logging password configuration** [*rate-limit number*]

**no logging password configuration** [*rate-limit number*]

構文の説明	<b>rate-limit</b> (任意) レート制限のロギングを指定します。				
	<b>number</b> (任意) 1 分あたりのメッセージ。範囲は毎分 1 ~ 60 メッセージです。				
デフォルト	なし				
コマンドモード	LDP コンフィギュレーション モード				
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5.2(1)</td> <td>このコマンドが追加されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更内容				
5.2(1)	このコマンドが追加されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。				
例	次に、パスワード変更に関連するイベントの表示をイネーブルにする例を示します。 <pre>switch# configure terminal switch(config)# mpls ldp configuration switch(config-ldp)# logging password configuration rate-limit 20 switch(config-ldp)#</pre>				
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>mpls ldp configuration</b></td> <td>マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	<b>mpls ldp configuration</b>	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。
コマンド	説明				
<b>mpls ldp configuration</b>	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。				

# logging password rollover

パスワード ロール オーバー イベントをイネーブルにするには、**logging password rollover** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**logging password rollover** [*rate-limit number*]

**no logging password rollover** [*rate-limit number*]

構文の説明	<b>rate-limit</b> (任意) レート制限のロギングを指定します。 <b>number</b> (任意) 1 分あたりのメッセージ。範囲は毎分 1 ~ 60 メッセージです。				
デフォルト	なし				
コマンドモード	LDP コンフィギュレーション モード				
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin				
コマンド履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>5.2(1)</td><td>このコマンドが追加されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更内容				
5.2(1)	このコマンドが追加されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。				
例	次の例に、パスワード ロール オーバー イベントをイネーブルにする方法を示します。 <pre>switch# configure terminal switch(config)# mpls ldp configuration switch(config-ldp)# logging password rollover rate-limit 10 switch(config-ldp)#</pre>				
関連コマンド	<table><thead><tr><th>コマンド</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td><b>mpls ldp configuration</b></td><td>マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。</td></tr></tbody></table>	コマンド	説明	<b>mpls ldp configuration</b>	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。
コマンド	説明				
<b>mpls ldp configuration</b>	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。				

# logging tunnel

トンネル固有のトラップ ロギングを設定するには、**logging tunnel** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
logging tunnel {lsp-selection | path change} [prefix-list]
```

```
no logging tunnel {lsp-selection | path change}
```

## 構文の説明

<b>lsp-selection</b>	ログ トンネル LSP 選択トラップを指定します。
<b>path change</b>	ログ トンネル LSP パス変更トラップを指定します。
<i>prefix-list</i>	(任意) プレフィックス リスト。

## コマンド モード

TE コンフィギュレーション モード

## サポートされるユーザ ロール

network-admin  
vdc-admin

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、ログ トンネル LSP 選択トラップを指定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# mpls traffic-eng configuration
switch(config-te)# logging tunnel lsp-selection prefix-list1
switch(config-te)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>mpls traffic-eng configuration</b>	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) トラフィック エンジニアリング プロトコル (MPLS-TE) を設定します。

# lsp attribute

ラベル スイッチド パス (LSP) 属性リストを設定するには、**lsp attribute** コマンドを使用します。

## **lsp attribute** *string*

構文の説明	<i>string</i>	大文字と小文字が区別される最大 63 文字の英数字文字列である、LSP 属性リスト。
-------	---------------	--

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	TE コンフィギュレーション モード
----------	--------------------

サポートされるユーザーロール	network-admin vdc-admin
----------------	----------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。
------------	------------------------------------

例	次に、LSP 属性リストを設定する例を示します。
---	--------------------------

```
switch# configure terminal
switch(config)# mpls traffic-eng configuration
switch(config-te)# lsp attribute 1
switch(config-lsp-attr)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>mpls traffic-eng configuration</b>	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) トラフィック エンジニアリング プロトコル (MPLS-TE) を設定します。

